

日本ソーシャルワーク教育学校連盟  
会長 白澤政和 様

この度は、ウクライナの戦闘地域にいるウクライナ人家族や子どもたちの避難、宿泊、食料、医薬品の提供、心理的支援、相談などの活動に 65 万円の寛大な寄付をいただき、NGO である Save Ukraine を代表して御礼申し上げます。ロシア軍がウクライナに侵攻し、何十万人もの市民が死に、都市が破壊されています。皆さんは私たちに寄り添い、敵から守り、人々の命を救うために支援してくださっています。

2014 年以来、NGO セーブ・ウクライナは、ウクライナ領土の占領中に家族を避難させ、支援する豊富な経験をつんでいます。2022 年 2 月 24 日の戦争開始以来、28500 人以上の子どもや家族、1200 人の親を失った子供たちを寄宿学校から避難させ、28000 個の食料品キットを配り、22000 人以上の子どもや家族に居住先を提供し、16500 件以上の相談を受けて心理、避難、就労／活動や資源に関わるアドバイスを行うことが出来ました。皆様の寛大なご寄付により、ウクライナ東部の戦闘地域から数千人の子どもたちと家族を避難させ、その後、列車でウクライナ西部またはポーランドに移動させることができます。子どもたちや家族は、キーウや私たちのセンターがある他の地点で、宿所や人道的支援を受けることができます。より安全な場所への移住後、家族と子どもたちの社会復帰のプロセスが始まります。

改めて、皆様の寛大なご支援に感謝いたします。

敬具

ミコラ・クレバ、NGO Save Ukraine、CEO  
オレクシイ・フェドチェンコ、Save Ukraine NGO、ディレクター

※和気副会長が翻訳対応